

## 資料編

## 資料編目次

1 実証技術の概要と要素技術の設置状況	104
1.1 実証技術の概要	104
1.2 都市域レーダの設置状況	106
1.2.1 都市域レーダの設置検討および確認結果	106
1.2.2 都市域レーダ設置後の設置基準検討結果の確認	112
1.2.3 都市域レーダの合成観測画像の確認	124
1.3 地上雨量計・水位計の設置状況	126
1.3.1 地上雨量計	126
1.3.2 水位計	133
1.4 その他設備の設置状況	136
1.5 実証における要素技術の仕様	139
2 実証研究期間における雨量・水位観測状況	146
3 要素技術の性能評価	162
3.1 要素技術の基本性能	162
3.2 性能評価一覧	164
3.3 都市域レーダの特徴と性能評価	166
3.3.1 都市域レーダの特徴	166
3.3.2 降雨発生早期検知の評価	169
3.3.3 降雨観測精度の評価	172
3.3.4 信号減衰による欠測域の評価	193
3.3.5 降雨観測精度向上	195
3.3.6 距離分解能の違いによる降雨観測精度比較評価	203
3.4 レーダ雨量解析技術の特徴と性能評価	207
3.4.1 降雨予測モデルの理論	207
3.4.2 降雨予測手順	217
3.4.3 降雨予測モデルの適用範囲	222
3.4.4 降雨予測精度の評価	223
3.5 リアルタイム流出解析技術の特徴と性能評価	244
3.5.1 リアルタイム流出解析技術の特徴	244
3.5.2 オンライン解析とオフライン解析	246
3.5.3 流出解析精度評価	247
3.5.4 施設運転支援および自助・共助支援に有効な予測パターンの選定	267

4	施設運転支援による浸水被害軽減効果の評価	284
4.1	評価方法	284
4.2	評価結果	297
4.3	経費回収年の算定	299
4.3.1	導入費用	299
4.3.2	維持管理費	301
4.3.3	経費回収年	302
5	自助・共助支援効果の評価	303
5.1	情報配信による自助・共助の促進効果	303
5.2	自助・共助による浸水被害軽減効果の試算事例	309
5.2.1	評価方法	309
5.2.2	評価結果	312
6	運用・維持管理	325
6.1	運用	325
6.2	維持管理	347
7	関連法令	351
7.1	気象業務法に基づく予報業務の許可対象	351
7.2	9.4GHz帯気象レーダの一般無線局化に向けた検討	355
7.3	無線局の開局	356
8	問い合わせ先	357